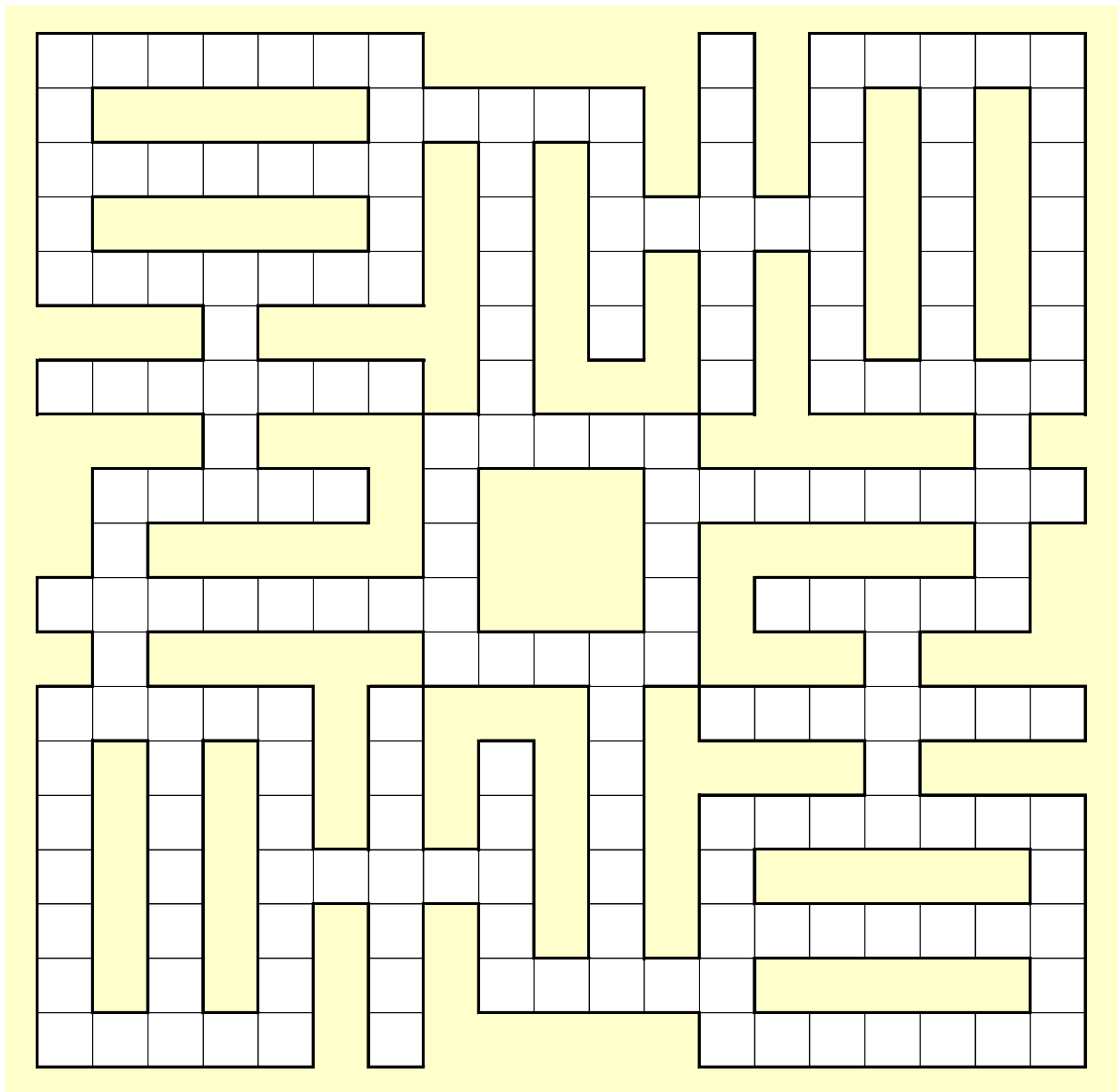


小倉百人一首をもとにしてスケルトンを作ってみました。
 リストの5～8文字の「句」を当てはめて完成させてください。
 最後まで使われずに残る句を含む歌2首の、それぞれ作者名を教えてください。



5文字

ありまやま
 おほふかな
 しがらみは
 しりながら
 しろたへの
 せをはやみ
 ちかひてし
 とばかりを
 ながからむ
 ながつきの
 ながらへば
 なげきつつ
 なにはなる
 はるのひに
 みかきもり

みかのほら
 みちのくの
 もみぢばは
 ももしきや
 やまがはに
 よのなかよ
 わかなつむ
 わかれより
 わたのはら

7文字

あさぼらけかな
 いつみきとてか
 いまはたおなじ
 おきつしらなみ
 かよふちどりの
 とやまのかすみ
 なくやしもよの
 なみこさじとは
 ひかりのどけき
 ひとめもくさも
 ふるきのきばの
 まだよひながら
 まつとしきかば
 ゆきはふりつつ
 よはのつきかな

よわりもぞする
 わがたつそまに
 われてもすゑに
 われならなくに
 をのへのさくら

8文字

かれぬとおもへば
 まちいでつるかな

このページには、リストに記載されている「句」を含む歌とその作者を一覧にしてみました。並びの順番は、小倉百人一首の歌の順番です。

田子の浦にうち出でて見れば **しろたへの** 富士の高嶺に **ゆきはふりつつ** (山部赤人)

みちのくの しのぶもちずり 誰ゆゑに 乱れそめにし **われならなくに** (河原左大臣)

君がため 春の野に出でて **わかなくつむ** 我が衣手に 雪は降りつつ (光孝天皇)

立ち別れ いなばの山の 峰に生ふる **まつとしきかば** 今帰り来む (中納言行平)

わびぬれば **いまはたおなじ** なにはなる **み**をつくしても 逢はむとぞ思ふ (元良親王)

今来むといひしばかりに **ながつきの** 有明の月を **まちいでつるかな** (素性法師)

みかのはら わきて流るる いづみ川 **いつみきとてか** 恋しかるらむ (中納言兼輔)

山里は 冬ぞ寂しさ まさりける **ひとめもくさも** **かれぬとおもへば** (源宗干朝臣)

有明の つれなく見えし **わかれより** 暁ばかり 憂きものはなし (壬生忠岑)

やまがはに 風のかけたる **しがらみは** 流れもあへぬ 紅葉なりけり (春道列樹)

久方の **ひかりのどけき** **はるのひに** しづ心なく 花の散るらむ (紀友則)

夏の夜は **まだよひながら** 明けぬるを 雲のいづくに 月宿るらむ (清原深養父)

忘らるる 身をば思はず **ちかひてし** 人の命の 惜しくもあるかな (右近)

契りきな かたみに袖をしぼりつつ 末の松山 **なみこさじとは** (清原元輔)

みかきもり 衛士のたく火の 夜は燃え 昼は消えつつ 物をこそ思へ (大中臣能宣朝臣)

明けぬれば 暮るるものとは **しりながら** なほ恨めしき **あさぼらけかな** (藤原道信朝臣)

なげきつつ ひとり寝る夜の 明くる間は いかにか久しきものとかは知る (右大将道綱母)

めぐり逢ひて 見しやそれとも わかぬ間に 雲隠れにし **よはのつきかな** (紫式部)

ありまやま 猪名の笹原 風吹けば いでそよ人を 忘れやはする (大式三位)

今はただ 思ひ絶えなむ **とばかりを** 人づてならで いふよしもがな (左京大夫道雅)

嵐吹く 三室の山の **もみぢばは** 龍田の川の 錦なりけり (能因法師)

高砂の **をのへのさくら** 咲きにけり **とやまのかすみ** 立たずもあらなむ (権中納言匡房)

わたのはら 漕ぎ出でて見れば ひさかたの 雲居にまがふ **おきつしらなみ**

(法性寺入道前関白太政大臣)

せをはやみ 岩にせかるる 滝川の **われてもすゑに** 逢はむとぞ思ふ (崇徳院)

淡路島 **かよふちどりの** 鳴く声に 幾夜寝覚めぬ 須磨の関守 (源兼昌)

ながからむ 心も知らず 黒髪を 乱れて今朝は 物をこそ思へ (待賢門院堀河)

よのなかよ 道こそなけれ 思ひ入る 山の奥にも 鹿ぞ鳴くなる (皇太后宮大夫俊成)

玉の緒よ 絶えなば絶えぬ **ながらへば** 忍ぶることの **よわりもぞする** (式子内親王)

きりぎりす **なくやしもよの** さむしるに 衣片敷き ひとりかも寝む (後京極摂政前太政大臣)

おほけなく うき世の民に **おほふかな** **わがたつそまに** 墨染の袖 (前大僧正慈円)

ももしきや **ふるきのきばの** しのぶにも なほあまりある 昔なりけり (順徳院)